

# 國島市長に問う!!

## 一般質問



3月10日及び11日の2日間、12人の議員が市政全般について質問しました。

### 3月10日(月)

	議員名	掲載ページ
1	松山篤夫	6
2	若山加代子	7
3	山腰恵一	7
4	中笈博之	8
5	村瀬祐治	8
6	杉本健三	9

### 3月11日(火)

	議員名	掲載ページ
1	松葉晴彦	9
2	岩垣和彦	10
3	小井戸真人	10
4	倉田博之	11
5	車戸明良	11
6	谷澤政司	12

※本会議などの様子は、市議会のホームページ・ヒットネットTVでご覧いただけます。  
(インターネットでは、当日の生中継のほか録画配信により、いつでも閲覧することができます。)

<http://www.city.takayama.lg.jp/gikai/gikai-eizou.html>

**高山市新エネルギービジョンの骨子案について**  
**問** 太陽光発電は「高山エネルギー大作戦」の意義を徹底させ、市民の協力を仰ぐためには極めて効果的な手段である。市は一般家庭と大型施設への受光パネルの設置目標の達成に向けての具体的な展開計画をどのように立てているのか。  
**答** 設置数を倍増するために、平成26年度予算案では200件分の太陽光発電システム普及事業補助金を計上。今後毎年200件の太陽光発電が設置されれば、平成32年度までには累計で約2,200件の設置が見込まれる。



松山 篤夫 議員

### みんなの力で 自然エネルギーを!

**問** 家庭発電の一番大きな問題点が「投下資本問題」である。この問題の解決案の一つが市民から出資を募って運営する「市民ファンド」である。市はこのファンドの設定をどのように考えているのか。  
**答** 市民ファンドは資金調達面でも市民参加という面でも有効な手法の一つであると考えている。新エネルギー導入促進につながるひとつとして積極的に取り組んでいきたい。

**問** 森林木材を新エネルギーに活用するためには越えなければならない障害にはどのようなものがあるか。  
**答** 原料となる木材の安定供給が最も重要な課題と捉えている。生産拡大のために利用間伐や路網の整備を促進するとともに木材の供給する側の協力体制の構築を支援したい。

**問** 地熱発電と中小水力発電の開発予定は。  
**答** 中尾、荘川地区の他にも整備できる場所がないか県が調査を実施しているとしている。

**問** 地酒を楽しむ催し案について  
**答** 市は地酒の消費拡大のために市民が楽しんで参加できる、どのような企画を考えているのか。  
**答** 市内の関連業者・団体と連携して、新しい酒や器、料理を開発すると共に、市民が楽しんで参加できる利き酒大会やおつまみコンテストなどのイベントの開催を計画している。

